

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月17日			
平成15年度	事業コード	13110	電話	042-769-8341
担当部課名	保健福祉部	保育	課	保育 係
事務事業名	休日保育推進事業補助金			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます。	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	13年度
施策名	第3施策	保育環境の整備・充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

特別保育事業の実施について（厚生労働省局長通知）ほか
----------------------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

義務的経費
-------

## 5 事務事業の分類

国庫補助事業
--------

## 6 受益者負担

あり
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
日曜・祝日等の保護者の勤務等により児童が保育に欠けている場合の休日保育の需要に対応するため、休日の保育を行う事業に対し、補助を行うことにより休日に保育に欠ける乳幼児の福祉の向上を図る		民間保育所（認可施設） 入所児童数の実績	
		対象数	3か所
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
休日保育を実施する保育所に対する補助 なお、受益者負担については、各施設における事業費に直接充てられる。（負担の上限額のみ市で定める）			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名	新さがみはら子どもプラン	子育て支援の総合的展開 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます 2 安心して働ける子育て支援の環境づくり	
計画年次	13年度～17年度		

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移（年度）				
				12	13	14	15	16
	休日保育利用率	実利用人数 / 実開所日数 * 10人（1開所日当たり目標）	休日保育の利用頻度を算出し、実施量を表す。		41	42	50	60
	活動指標	実開所日数 / 年間想定開所日数 * 100	休日保育実施の頻度を算出し、必要量を表す（上限は100）	67	85	88	90	

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算（見込み）
事業費					
決算（予算）額		3,750	4,500	4,500	4,500
人員・時間数		1	1	1	1
人件費		8,390	8,390	8,390	8,390
その他経費					
合計	0	12,140	12,890	12,890	12,890
特定財源		2,500	3,000	1,500	1,500
対象数		3	3	3	3
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	4,046.7	4,296.7	4,296.7	4,296.7

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	実開所日数から勘案すると、事業そのものについては、概ね理解されたものとする。 利用者については、事業の性格から、目標数値に向けていたずらに掘り起こすという考え方ではなく、社会・経済情勢の変化に伴い、必然的に遡増してくるものとする。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 社会・経済情勢の変化に伴い、日曜・祝日等における保護者の勤務の実態があり、児童福祉の観点から必要である。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	社会・経済情勢の変化に伴い、日曜・祝日等における保護者の勤務の実態があり、こうしたニーズにかかわる児童福祉の観点から有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 国における休日保育の実施主体の考え方は基本的には市であるが、社会福祉法人等の実施も可能であることから、本市においては、地域性も考慮した中で、民間保育所3か所で実施し、経費面においても配慮している。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市では事業への助成に当たり、保護者負担額について上限額を設けることにより、著しく高額な負担にならないよう配慮している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 補助基準等が国で定められる国庫補助事業であり、裁量の余地がない。	手段	特になし
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		なし
今後の進め方		総合評価に関する説明 社会・経済情勢を考慮すると今後も必要な事業と考えられるが、国制度が定額払いから利用人数に応じた件数払いに改正されることに伴い、財源が不安定になるものと想定されるため、その安定的な実施に当たっては、補助が必要である。 また、現在の実施状況や保護者のニーズ等を把握したなかで、実施園数や配置等について再検討することも必要と思われる。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--